

令和元年度 事務事業評価表

所属 都市建設部 道路雨水課

事務事業	322702	道路修繕事業			
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	322710 道路の安全性の確保	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い	
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略	方向性（第二次）
対象	市管理の道路				

事務事業目的	都市計画道路などの幹線市道や一般市道の舗装の破損が著しい路線を対象に、交通の安全性や円滑化を図ります。				
事務事業内容	都市計画道路などの幹線市道や幹線道路などを補完する一般市道について、「市道舗装修繕計画」に基づき、計画的に舗装修繕工事を行います。その他の一般市道も、計画的に修繕工事を行います。				
実施形態	直営				
成果指標	設定なし 令和元年度実績：				
活動指標	（活動指標１）舗装の修繕工事の延長 （活動指標２）舗装の修繕工事の路線数 令和元年度実績： 指標１：2,700.8m 指標２：8路線				

事業コスト計算

事務事業費予算額	183,485,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	1.39 人
事務事業費決算額	182,899,500 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	1.39 人
予定値		確定値	
直接事業費	183,485,000 円	直接事業費	182,899,500 円
人件費	11,456,942 円	人件費	11,240,102 円
総額	194,941,942 円	総額	194,139,602 円

見直し実績	スマートフォンを活用した簡易路面性状調査を行い、市道の日常点検を図った。				
内部要因	災害時の機動的対応、防災性の向上のため、道路の機能維持が図られる。				
外部要因	老朽化が進む道路の修繕には、時間とコストがかかるため、計画的に実施していく。				
必要性	老朽化が進む道路について、計画的な舗装修繕工事を実施し、災害時等の道路機能の維持を図るとともに、交通の安全性や円滑化を図る。				
効率性	都市計画道路などの幹線市道等の一般市道については、「市道舗装修繕計画」に基づき、将来の大きな財政負担にならないよう効率的に実施する。なお、従事職員数の見直しなどによるコストを削減する余地はない。				
方向性	舗装修繕を行うことにより道路の安全性が確保されるため、事業の改善・効率化を図り、関係部門と連携し、事業を継続する。				

事務事業	322707	道路改良事業			
	事業区分	実施計画事業	施策体系	322710 道路の安全性の確保	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い	
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略	方向性（第二次）
対象	市管理の道路				

事務事業目的	一般市道について、安全で快適な道路環境の整備を図ります。				
事務事業内容	一般市道の拡幅や交差点の改良工事を計画的に行います。				
実施形態	直営				
成果指標	設定なし 令和元年度実績：				
活動指標	（活動指標1）道路改良工事の延長 （活動指標2）道路改良工事の路線数 令和元年度実績： 指標1：67.8m 指標2：1路線				

事業コスト計算

事務事業費予算額	51,600,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	2.24 人
事務事業費決算額	45,905,534 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	2.24 人
予定値		確定値	
直接事業費	51,600,000 円	直接事業費	45,905,534 円
人件費	18,462,985 円	人件費	18,113,545 円
総額	70,062,985 円	総額	64,019,079 円

見直し実績	関係機関と連携し、事業を進めた。				
事務事業評価	内部要因 外部要因	歩行者等の移動の安全性の向上のため、地域の意見を聞きながら道路改良を進めることにより道路の機能維持が図られる。 道路の安全性を維持していくための道路改良には、時間とコストがかかるため、計画的に実施していく。			
	必要性	一般市道について、計画的な改良工事を実施することにより、安全で快適な道路環境の整備を図るとともに、交通の安全性や円滑化を図る。			
	効率性	一般市道の拡幅や交差点の改良については、道路の安全性の確保や歩行者等の通行空間の確保が図られるため、将来の大きな財政負担にならなよう効率的に実施する。なお、従事職員数の見直しなどによるコストを削減する余地はない。			
	方向性	道路改良を行うことにより道路の安全性が確保されるため、事業の改善・効率化を図り、関係部門と連携し、事業を継続する。			

令和元年度 事務事業評価表

所属 都市建設部 道路雨水課

事務事業	322711	橋りよう維持保全事業			
	事業区分	実施計画事業	施策体系	322710 道路の安全性の確保	
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い	
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	強化戦略	方向性（第二次）
対象	市管理の橋				

事務事業目的	市が管理する橋りようの点検調査や修繕及び更新等の維持管理を行います。また、重要な橋りようについては「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、適切な維持・保全を図ります。				
事務事業内容	橋りようの修繕工事を実施するとともに、「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、国庫補助金を活用し、計画的に修繕等を実施します。また、埼玉県が実施する不老川改修事業に併せ、橋りようの架け替え工事を実施します。				
実施形態	直営				
成果指標	設定なし				
	令和元年度実績：				
活動指標	（活動指標１）点検調査橋梁数 （活動指標２）橋りよう修繕及び架替え箇所数 令和元年度実績： 指標１：０橋（※点検年次でないため） 指標２：３橋				

事業コスト計算

事務事業費予算額	42,000,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.96 人
事務事業費決算額	69,875,650 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.96 人
予定値		確定値	
直接事業費	42,000,000 円	直接事業費	69,875,650 円
人件費	7,912,708 円	人件費	7,762,948 円
総額	49,912,708 円	総額	77,638,598 円

見直し実績	関係機関と連携し、事業を進めた。				
事	内部要因	災害時の機動的対応、防災性の向上のため、橋梁の機能維持が図られる。			
務	外部要因	老朽化が進む橋梁の修繕には、時間とコストがかかるため、計画的に実施していく。			
事	必要性	道路法による管理、構造の基準等に基づき、橋りようを維持・保全し、災害時等の道路機能の維持を図るとともに、道路の安全性や円滑化を確保する。			
業	効率性	橋梁の老朽化が進んでいくため、計画的な橋梁点検と橋りよう長寿命化修繕計画等に基づき、将来の大きな財政負担にならないよう効率的に実施する。なお、従事職員数の見直しなどによるコストを削減する余地はない。			
評	方向性	橋りよう長寿命化修繕計画に基づき、修繕工事を実施するとともに、維持管理コストの縮減と平準化を図れるため、事業の改善・効率化を図り、関係部門と連携し、事業を継続する。			
価					

事務事業	322721	放置自転車対策事業			
	事業区分	実施計画事業	施策体系	322730 放置自転車対策の推進	
区分	必要性	非常に高い	効率性	普通	
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改良戦略	方向性（第二次）
対象	市民・市内駅利用者				

事務事業目的	歩行者等の安全と災害時などの通行空間の確保のため、自転車等が放置されない良好な駅周辺環境の整備を図ります。				
事務事業内容	狭山市駅、入曽駅、新狭山駅周辺の自転車駐車場の管理、自転車等放置禁止区域における駐車指導及び放置自転車等への警告と撤去並びに保管業務を行います。				
実施形態	一部委託				
成果指標	放置自転車に対する警告回数 令和元年度実績： 1,073回				
活動指標	（活動指標1）放置自転車等対策業務における巡回監視業務の実施日数 （活動指標2）巡回監視業務実施箇所数 令和元年度実績： 活動指標1 243日 活動指標2 6箇所				

事業コスト計算

事務事業費予算額	11,369,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	1.31 人
事務事業費決算額	11,172,201 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.93 人
予定値		確定値	
直接事業費	11,369,000 円	直接事業費	11,172,201 円
人件費	10,797,549 円	人件費	7,520,356 円
総額	22,166,549 円	総額	18,692,557 円

見直し実績		（参考）市内の無料自転車駐車場では、長期間に渡り駐車している自転車及び原動機付自転車が多数あり、利用スペースを圧迫していたことから、「狭山市自転車駐車場条例」を改正し、新たに、これらの長期駐車車両の処分に関する規定を設け、駐車場の適正な運用を図った。	
事務事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）駅までのアクセス向上や道路、駐車場の整備・確保のニーズが高まっている （強み）計画的にまちづくりを進めている	
	必要性	歩行者等の移動の安全と災害時などの通行空間の確保のためにも、自転車駐車場の整備及び放置自転車の撤去等の必要性は高い	
	効率性	駅周辺の環境整備のために必要な自転車駐車場の適正な配置、運営を検討する中で、業務委託により市営の無料自転車駐車場の管理や放置自転車の撤去等を実施することの効率性は認められる	
	方向性	放置自転車が歩行者等の安全の妨げや災害時の通行空間の支障とならない様に、これまでの管理委託業務を継続するとともに、駅周辺の自転車駐車場の必要な収容台数等の実態を把握し、適正な配置及び有料化を含めた運営方法について検討する	

事務事業	322726	狭山市駅西口自転車駐車場管理事業			
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	322730 放置自転車対策の推進	
区分	必要性	非常に高い	効率性	普通	
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改良戦略	方向性（第二次）
対象	自転車利用者				

事務事業目的	駅周辺の交通の安全と円滑化を図り、更には、防犯面等付加価値のある有料駐車場を運営し、利用者の利便性を確保することを目指します。				
事務事業内容	狭山市駅西口において、2 4 時間利用可能な有料自転車駐車場を運営します。				
実施形態	指定管理				
成果指標	第1・2 自転車駐車場年間延べ利用台数 令和元年度実績： 324,029台				
活動指標	（活動指標1）年間開設時間 令和元年度実績： 8,784時間				

事業コスト計算

事務事業費予算額	7,017,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.39 人
事務事業費決算額	6,524,673 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.25 人
予定値		確定値	
直接事業費	7,017,000 円	直接事業費	6,524,673 円
人件費	3,214,538 円	人件費	2,021,601 円
総額	10,231,538 円	総額	8,546,274 円

見直し実績		令和2年度からの管理運営業務に係る指定管理者を選定した	
事務事業評価	内部要因 外部要因	（ニーズ）駅までのアクセス向上や道路、駐車場の整備・確保のニーズが高まっている	
	必要性	駅周辺における交通の安全確保を図るとともに付加価値の高い自転車駐車場を運営し、市民の利便性の向上を図り、民間の経営ノウハウを活かしたサービスを提供する本事業の必要性は高い	
	効率性	狭山市駅西口の自転車駐車場は、民間の経営ノウハウを活かしたサービスを提供すべく、指定管理者により管理運営を行っているが、令和元年度については、協定違反があったため、指定管理者の指定取消しを行うなど、効率的な事業実施ができなかった。	
	方向性	指定管理者による管理運営について、管理運営に関する仕様やモニタリング手法等を見直し、市と指定管理者の連携を密にしながら事業を進め、さらなる市民サービスの向上を図る。	

事務事業	322731	狭山市駅西口駐車場管理事業			
事業区分	実施計画事業	施策体系	322730 放置自転車対策の推進		
区分	必要性	非常に高い	効率性	普通	
	方向性（第一次）	改善・効率化	改善、効率化の内容	改良戦略	方向性（第二次）
対象	自動車利用者				

事務事業目的	駅周辺の交通の安全と円滑化を図り、更には、防犯面等付加価値のある有料駐車場を運営し、利用者の利便性を確保することを目指します。				
事務事業内容	狭山市駅西口において、2 4 時間利用可能な有料駐車場を運営します。				
実施形態	指定管理				
成果指標	西口自動車駐車場年間延べ利用台数 令和元年度実績： 242,396台				
活動指標	（活動指標 1）年間開設時間 令和元年度実績： 8,784時間				

事業コスト計算

事務事業費予算額	52,388,000 円	R1 事務分担表による「事務に係る人数」	0.39 人
事務事業費決算額	66,170,256 円	R2 事務分担表による「事務に係る人数」	0.25 人
予定値		確定値	
直接事業費	52,388,000 円	直接事業費	66,170,256 円
人件費	3,214,538 円	人件費	2,021,601 円
総額	55,602,538 円	総額	68,191,857 円

見直し実績	(参考) 令和2年度からの管理運営業務に係る指定管理者を選定した		
内部要因	(ニーズ) 駅までのアクセス向上や道路、駐車場の整備・確保のニーズが高まっている		
外部要因			
必要性	駅周辺における交通の安全確保を図るとともに付加価値の高い駐車場を運営し、市民の利便性の向上を図り、民間の経営ノウハウを活かしたサービスを提供する本事業の必要性は高い		
効率性	狭山市駅西口の自転車駐車場は、民間の経営ノウハウを活かしたサービスを提供すべく、指定管理者により管理運営を行っているが、令和元年度については、協定違反があったため、指定管理者の指定取消しを行うなど、効率的な事業実施ができなかった。		
方向性	指定管理者による管理運営について、管理運営に関する仕様やモニタリング手法等を見直し、市と指定管理者の連携を密にしながら事業を進め、さらなる市民サービスの向上を図る。		